

2015 年度 SMC 事業方針について

医療法人救友会

理事長	山本 五十年	
監 事	猪口 貞樹	(東海大学医学部附属病院 病院長)
理 事	鈴木 紳一郎	(藤沢湘南台病院 総病院長)
理 事	岸部 宏一	(横浜医療法務事務所 代表)
参 与	戸崎 剛	(エアウォーター防災事業戦略部長)
参 与	出縄 高昭	(湘南減災科学研究所 所長)

株式会社メディトピア湘南

代表取締役	山本 仙子	
取締役	西 仙浩	
監査役	小平 文征	(株式会社ジェイエーエス 代表取締役)
参 与	岸部 宏一	
参 与	戸崎 剛	

SMC 運営連絡会議 (順不同)

医療法人救友会理事長	
湘南真田クリニック院長	山本 五十年
株式会社メディトピア湘南 代表取締役	
SMC 居宅介護支援事業所さなだ 所長	山本 仙子
株式会社メディトピア湘南 取締役	
SMC 経営戦略部 部長	西 仙浩
SMC 訪問看護ステーションさなだ 所長	白土 玲子
湘南メディケアガーデン 所長	青木 健二
SMC ケアステーションさなだ 所長	
SMC 定期巡回・随時対応型事業所ひらつか 所長	渡辺 多恵子
メディカルホーム メディトピア真田 施設長	長濱 三和子

2015 年度の SMC の事業方針の骨子について、2014 年度第 7 回 SMC 経営戦略会議 (3 月 28 日) での審議 (議題: 2015 年度 SMC の方針策定に向けて) を経て、2015 年度第 1 回 SMC 運営連絡会議 (4 月 9 日) において、別紙のとおり策定しました。

この事業方針の骨子は、2 法人の役員と運営連絡会議の役員・役職の共通の認識であり、今後、この骨子を基本とした 2015 年度事業計画案を立案し、医療法人救友会 2015 年度定時理事会・社員総会に提案することといたします。

現在、各事業所で年度初めのヒアリングが実施されていますが、常勤・非常勤を問わず、職員の皆様のご意見を事業計画に反映したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

湘南メディケアグループ代表 山本五十年

2015 年 4 月 13 日

2015 年度事業方針の骨子

I. 2014 年度の事業概要

1. 2013 年度の事業概要
 - ・ 会計の見える化、財務管理システムの確立
 - ・ 新給与体系の導入
 - ・ 人事考課の導入
 - ・ SMC ルール（業務分掌、職務権限）の確立
 - ・ 内部監査の確立と実施
2. SMC 経営運営体制の刷新
 - ・ SMC 経営戦略会議の発足
 - ・ SMC 運営規則、作業部会細則の策定
 - ・ SMC 運営連絡会議、安全管理委員会の確立
 - ・ SMC 各作業部会（教育研究・業務改善・食事）の再構築
3. SMC 会計システムの構築
4. 個人情報管理システムの確立
 - ・ 個人情報管理規程の策定
 - ・ 全職員を対象とした研修会の開催
5. 医療法人倫理委員会の確立
 - ・ 倫理委員会の設置規程の策定
6. 危機管理・リスクマネジメントの整備
 - ・ 安全管理委員会の確立と運用
7. 新たな SMC 事業所の開拓
8. 教育研修の推進
 - ・ 教育研究作業部会/委員会の救命講習、研究発表会
 - ・ 各事後所の教育研修
 - ・ 外部研修への参加
9. 湘南真田クリニックの施策
 - ・ 機能強化型在宅療養支援診療所の登録
 - ・ 外来診療の充実
 - ・ 在宅訪問の多彩な展開
 - ・ 2014 年度診療報酬改定による減収対策
10. 臨床研修医の教育指導
 - ・ 平塚市民病院 7 名、海老名総合病院 2 名

- ・「異文化コミュニケーション」の推進
 - ・平塚市民病院臨床研修委員会、海老名総合病院臨床研修管理委員会委員の委嘱
11. 訪問看護ステーションの事業推進
 - ・運営経営基盤の強化
 - ・訪問看護内容の質の向上、教育研修
 - ・優れた職員の増員
 - ・介護スタッフへの指導、吸引等の処置拡大指導者の養成研修
 12. 訪問介護ステーション/定期巡回・随時対応型介護看護事業の事業推進
 - ・運営経営基盤の強化、訪問人数/件数の増加
 - ・メディトピア真田の稼働率向上への対応
 - ・訪問介護内容の質の向上、教育研修
 - ・定期巡回・随時対応型介護看護事業の推進と地域展開
 - ・ひらつか地域介護システム会議の推進
 13. 居宅介護支援事業所の事業推進
 - ・利用者拡大への努力
 - ・介護支援の質の強化
 - ・主任ケアマネの導入
 14. 通所介護の展開
 - ・経営の継続的努力
 - ・個別介護の質の充実
 - ・コンセプト策定に基づく新たな事業所の開設準備
 15. メディトピア真田の活性化
 - ・ケアステーションとの協働
 - ・稼働率向上への努力
 - ・急性期病院、居宅介護支援事業所等との連携
 - ・医療・介護・生活支援と一体となった尊厳ある暮らしの追求
 - ・様々な行事の実現の努力
 16. 安定した事務サービス提供への努力
 17. 神奈川県・平塚市・医師会事業等への協力
 - ・平塚保健福祉事務所主催の在宅医療推進研修会
 - ・平塚市医療連携懇話会（コア会議）
 - ・平塚市医師会地域医療連携特別委員会・在宅医療研究会
 - ・平塚市休日夜間急患センター
 - ・ひらつか地域介護システム会議 等
 18. 急性期病院との連携
 - ・平塚市民病院、平塚共済病院、秦野赤十字病院、東海大学大磯病院、

- 伊勢原協同病院、東海大学医学部附属病院等との連携
- ・退院時共同指導への参加を通じた急性期病院との連携
- ・秦野赤十字病院職員の研修協力
- ・東海大学病院、社会医療法人 JMA、医療法人鉄蕉会との交流

13. 多職種連携の推進

- ・研修会等への参画、各種講演の実施
- ・サービス提供担当者会議の開催・参画
- ・医療介護推進会議の開催

14. 湘南メディケア友の会との協働

- ・通信紙の発刊
- ・湘南メディケア友の会総会の開催協力

15. 実地指導への対応

- ・訪問看護ステーション、ケアステーション、通所介護、居宅介護支援事業所

16. 全国発信

2013 年度

- 厚生労働省医政局、総務省消防庁等の視察
- 医学雑誌「病院」への投稿
- 全国セミナー等での講演

2014 年度

- 7 月：第 71 回長野県農村医学会総会 特別講演
日農医誌 63 (5) : 805-833、2015.
- 8 月：花と夕陽ねっと記念講演会（西伊豆町）
藤沢市介護保険事業所連絡会研修会
- 9 月：第 22 回群馬県救急医療懇談会パネルディスカッション
「救急医学」9 月特集号 座談会（へるす出版）
- 10 月：第 8 回九州在宅医療推進フォーラム特別シンポジウム（鹿児島）
- 11 月：厚生労働省研究班会議
- 1 月：全国メディカルコントロール協議会連絡会第 2 回総会 特別講演
厚生労働省：都道府県 MC 指導医育成に対する研修会
- 2 月：厚生労働省：病院前医療体制における指導医等研修ワークショップ
第 65 回日本救急医学会関東地方会学術総会 シンポジウム
- 3 月：厚生労働省科学研究事業報告書発刊
成書「スーパー総合医」（在宅医療・多職種連携）の発刊
 - ・救急と在宅医療をつなぐ
 - ・救急医療と介護の連携

Ⅱ. 2015 年度事業方針の骨子

1. 危機管理・リスクマネジメントの充実
 - ・安全業務マニュアルの確立
 - ・ヒヤリハット研修会の開催
2. 退職金制度の整備
3. 福利厚生事業の推進
4. 職員の健康管理システムの充実
5. 教育研修の推進
 - ・メンバーシップ教育、「学習する組織」の推進
 - ・対人援助コミュニケーション研修の推進
 - ・各事業所の教育研修の推進
 - ・癒すものが癒される事業の推進
6. 人事考課の本格実施
7. 医療法人、株式会社の組織的強化
8. 湘南メディケア友の会との協働の推進
9. 介護保険改訂への対策
10. 安定した事務サービスの充実
11. 湘南真田クリニックの施策
 - ・新診療体制への移行
東海大学病院、藤沢湘南台病院、海老名総合病院、平塚市民病院等の協力
3名の新規医師の入職～さらに次のステージを目指して
新しい風の導入による気持ちの良い職場創り
 - ・地域医療の発展的継続
 - ・多職種協働と連携の一層の推進
12. 臨床研修医の教育指導の推進
 - ・平塚市民病院、海老名総合病院の臨床研修教育への全面協力
 - ・「異文化コミュニケーション」の推進
12. 訪問看護ステーション事業の推進
 - ・業務の質の向上、優れた職員の増員、介護スタッフの教育
 - ・機能強化型訪問看護ステーションを目指して
 - ・複数の訪問看護ステーションの設立を目指して
13. 訪問介護ステーション、定期巡回・随時対応型事業の推進
 - ・業務の質の向上、チームワークの向上
 - ・地域展開の強化～地域住民とともに
 - ・吸引等の処置拡大への対応：プロジェクトの推進

14. 居宅介護支援事業所の強化
 - ・利用者の拡大と介護支援の質の強化
 - ・主任ケアマネ体制の再構築を目指して
15. 通所介護の新たな展開
 - ・新たな事業所の開所（7月）
 - ・事業運営体制の整備
 - ・近未来型の通所介護の在り方の発信
16. メディトピア真田の展開
 - ・医療・介護・生活支援と一体となった尊厳ある暮らしの追求
 - ・多職種・多事業所の協働と連携の強化
 - ・緩和ケアホームの確立を目指して
在宅緩和ケア助成金制度の追求
 - ・様々な行事の実現の努力（ケアステーションとの協働）

★「私たちの誓い」の実現へ向けて

- ・2法人7事業所の自助・互助の努力～助け合い、支え合い
- ・メンバーシップの確立
- ・キーワード：コミュニケーション、切磋琢磨、学び